

発行所
氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



高円寺氷川神社
公式 Twitter



花園神社大酉祭正式参拝を終えて

正式参拝後に参加者で記念撮影



熊手商の掛け声も賑やかで、日常が戻ってきていることが感じられました

11月23日(木・祝)高円寺氷川神社一行(氏子青年会)で花園神社(新宿)を訪問しました。花園神社と高円寺氷川神社の先代宮司同士が懇意にしてきたことから、毎年この時期の花園神社の年中行事である「大酉祭」に訪問して正式参拝をさせて戴いております。
毎年、氏子青年会、神社関係者で訪問していますが、ここ数年はコロナのため、人数制限をかけながら参拝していました。今年は花園神社境内でも特に制限なく、コロナ前の賑やかさが完全に戻ったことを感じる事ができました。
多忙な時期にも関わらず、受け入れて戴いた花園神社の皆様に対して、参加者全員で改めて感謝の気持ちを抱きました。花園神社の深いご協力に感謝の気持ちを忘れずに、来年以降も定期的に続くことを祈念します。

花園神社酉の市

花園神社の酉の市は、明治時代に始まりました。酉の市は、大鳥神社の祭神である日本武尊が東夷征伐の戦勝祈願をし、帰還の時に御礼参りをしたことにちなみ、日本武尊の命日である11月の酉の日に行われるようになりました。商売繁盛の熊手を売る露店商のにぎやかな声は、師走を迎える街に欠かせない風物詩。毎年60万人もの人が訪れる市の日には花園神社名物の見世物小屋を覗くチャンスでもあります。

令和6年 厄年年齢早見表(数え年によるもの)

男性の厄年	前厄	本厄	後厄
	24才	25才	26才
	2001年 平成13年生 へび	2000年 平成12年生 たつ	1999年 平成11年生 うさぎ
	41才	42才	43才
1984年 昭和59年生 ねずみ	1983年 昭和58年生 いのしし	1982年 昭和57年生 いぬ	
60才	61才	62才	
1965年 昭和40年生 へび	1964年 昭和39年生 たつ	1963年 昭和38年生 うさぎ	

女性の厄年	前厄	本厄	後厄
	18才	19才	20才
	2007年 平成19年生 いのしし	2006年 平成18年生 いぬ	2005年 平成17年生 とり
	32才	33才	34才
1993年 平成5年生 とり	1992年 平成4年生 さる	1991年 平成3年生 ひつじ	
36才	37才	38才	
1989年 平成元年生 へび	1988年 昭和63年生 たつ	1987年 昭和62年生 うさぎ	
60才	61才	62才	
1965年 昭和40年生 へび	1964年 昭和39年生 たつ	1963年 昭和38年生 うさぎ	

◆数え年とは、満年齢に誕生日前には二才、誕生日後には一才を加えた年です。

◆ご参拝にあたり◆

特に正月三が日は多くの参拝者が見込まれますので、できるだけ混雑をお避けしてお越しく下さい。



《開門時間》

12月31日(日)18時～1月1日(月)19時
1月2日(火)～1月4日(木)：7時～18時
1月5日(金)以降：7時～17時

《社務所受付時間(御守・御朱印など)》

1月1日(月)：0時～18時
1月2日(火)～1月4日(木)：9時～17時
1月5日(金)以降：9時～16時

※状況により受付時間が変更となることもあります。
※詳しくは公式サイト、公式ツイッターでご確認
戴くか、社務所へお問い合わせ下さい。

◆お焚き上げ神事

31日(日) 23時45分～

◆お神酒・甘酒

是非お求めになってください。
※数に限りがあります

新年のお参りは氷川神社へ
令和六年初詣のご案内



氷川神社では、法人、団体、個人向けの新年清祓(初詣)を始め、厄祓い、その他各種祈禱を承っております。年の始めには是非、神恩感謝と弥栄、安寧を祈願いたします。

新年ご祈禱のご案内



令和5年の初詣の様子

年末年始のお焚き上げ
についてお願い

年末から注連縄、破魔矢、神札、お守りなどのお焚き上げを承ります。納札箱は社務所玄関付近に設置しますので、そちらにお納めください。また鈴など不燃物が付着している授与品は外してお納めください。陶器などの不燃物も受け付けかねます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

年末の注連縄販売

◆日時
12月26日(火)
12月27日(水)
12月28日(木)
いずれも11～16時
※時間は前後することあります
◆場所
氷川神社境内
※数に限りがあり、なくなり次第終了となります。
(初日だけで終わることもあります)

以前は年末になると高円寺の街には臨時の注連縄販売所が数か所ありましたが、時代の変遷と共に徐々になくなってしまいました。
2019年より本社神輿宮頭を務めて戴いている(有)上野工務店・上野様に氷川神社境内に臨時販売所を設営して戴き、注連縄を販売しております。皆様のお越しをお待ちしております。

注連縄の販売



第60回気象予報士試験 合格者お祝い会

11月18日(土)第60回気象予報士試験合格者お祝い会を気象神社で開催しました。気象神社では夢☆カフェ主催の気象予報士試験の通学講座を開講していますが、第60回気象予報士試験(令和5年8月)で、9名の合格者を送り出すことができました。合格率が4%と超難関の試験ですが、受講生の努力と頑張りで気象神社の神様も見守ってくださいましたことと思えます。合格者のこれからの活躍を心より祈念申し上げます。



合格者の皆様



森田正光さん(右)と中島俊夫さん(左)も駆けつけてくださいました

「掛軸(至誠を以て神恩を仰ぐ)」修復完了 作者…武蔵一宮氷川神社 先代(第十七代)宮司 東角井光臣氏



氷川神社の宝物の一つに「掛軸(至誠を以て神恩を仰ぐ)」があります。これは氷川神社の総本社である武蔵一宮氷川神社(埼玉県さいたま市)の先代宮司(第十七代宮司)の東角井光臣氏から当社先々代宮司の山本実氏へ進呈されたものです。昭和50年に進呈後、大切に保管してまいりました。

先般、武蔵一宮氷川神社の社報で当社社を紹介して戴いた際、武蔵一宮氷川神社側から、この掛軸の写真を提供してほしいと依頼があり、これを機に老朽化したこの掛軸の修復を行いました。昨年、「式年遷宮」の修復を依頼した京都の横山清和堂に再び依頼、無事にそして見事な仕上がりで戻ってきました。社務所受付窓口横に展示したので、是非ご参拝時にはご鑑賞ください。



参道は約2kmと日本一の長さです



武蔵一宮 氷川神社

氷川神社は社記によると今から凡そ二千有余年第五代孝昭天皇の御代3年4月未の日の御創立と伝えられます。第十二代景行天皇の御代、日本武尊は東夷鎮定の祈願をなされたと伝わっております。第十三代成務天皇の御代には出雲族の兄多毛比命が朝廷の命により武蔵国造となって当社を奉崇し、善政を敷かれてから益々当社の神威は輝き格式を高めたと伝わります。第四十五代聖武天皇の御代には武蔵一宮と定められ、第六十代醍醐天皇の御代に制定された延喜式神名帳には名神大社として、月次新嘗案上の官幣に預かり、又臨時祭にも奉幣に預かる等、歴朝の崇敬を殊の外厚く受けてまいりました。武家時代になっても、鎌倉・足利・北条・徳川氏等相次いで当社を尊仰し、社殿の再建や造営を行っております。

氏子青年会 会員募集

入会資格

高円寺氷川神社への崇敬の
思いがある15~60歳の方

年会費

個人会員 1,500円

入会方法

神社にお越しの上、入会申
込書にご記入の上、年会費
をお納めください。



◆ 氷川神社氏子青年会
新会員加入
今年には氷川神社氏子青年会に6
名の新会員が加わりました。当神
社の氏子青年会は今年で結成56
年目で東京で約40ある氏子青年
会でも最も歴史がある神社の一つ
です。近年は会員の高齢化が目
立ってきており、若い世代の会員
を募集してましたが、今年は20、
30代の若い世代の加入もありま
した。氏子青年会なしに神社の各
行事や活動は成り立ちません。今
後もご協力をお願いします。

お知らせ

今月の花手水

- 【氷川神社】
 - ・年越しそばを食べるうさぎさん
 - ・オレンジ色の三つ巴
- 【気象神社】
 - ・年越しそばの具材
 - ・こたつとみかん

※公式サイトに過去の御朱印を
掲載してますので、ご覧ください。

令和5年12月の御朱印



今月の御朱印



◆ 社報「ひかわ」

147号(2018年7月号)から
現在の様式になりましたが、過去
の社報をお求めになりたい方はお
気軽に神社までお問い合わせ下さ
い。(147号)が対象となります)

◆ ご祈祷のご案内

氷川神社では各種祈禱を承って
おりますので、お気軽に神社まで
お問い合わせ下さい。
また気象神社では晴天祈願をは
じめとする各種祈願を承っており
ます。(会社、法人、団体様のみが
対象となります)

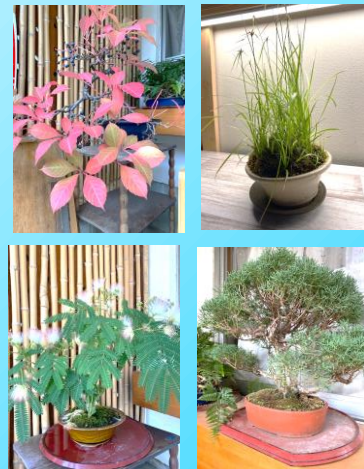


◆ 「テラヨガ」開催中

毎週水曜日、氷川神社大広間で
ヨガ講座を開催中です。お気軽に
お問い合わせください。

今月の盆栽

氏子地域の盆栽屋ラビア
デッソ様が毎月盆栽を神社に
届けてくれています。素敵なの
盆栽を毎月紹介していきます。



編集後記

ひかわ213号をお送りし
ました。大陸の高気圧が優勢
となり、日本付近は等圧線が
南北に縞状となる「西高東低
」冬型」と気圧配置となり、
本州日本海側に大雪をもたら
しています。

第2回お天気フェスも無事
に開催できました。少しずつ
ですが「高円寺をお天気の町
に」という目標に向けて進む
ことができました。

年末が迫ってきました。体
調に留意して、新年に向けて
準備を進めていきます。皆様
もよいお年をお迎えください。